

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日： 2024 年 1月 5日

事業所名： 夢門塾ゆうゆう高木2組

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	3	2	0	・調理室を一部整備し、公文を静かに集中して行えるよう環境づくりをした。 ・日によっては少し狭いと感じる時もあるが、工夫して使用している。
	②	職員の配置は適切である	0	3	2	・送迎時や緊急対応時、教室内の職員が手薄になりがちだが、連携を大切にしていこう。
	③	衛生面の管理が行き届いている	3	2	0	・消毒など、毎日気をつけているが、窓やエアコンもこまめに清掃していく。 ・子どもが口に入れたりしたおもちゃなども消毒の徹底をしていく。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	1	3	1	・職員のスキルの差はあるが、個別に対応している。 ・朝礼での共有、振り返りはできている。 ・さらにPDCAサイクルの取り組みを深めていく。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	4	1	0	・カンファレンス時に共有し、改善を心がけている。 ・保護者様評価をきちんと確認し、今後の支援に活かしていく。
	⑥	自己評価の結果を公開している	2	3	0	・HPなどで情報を公開している。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	5	0	0	・年に数回様々な研修を実施している。 ・全体研修だけでなく、エリア勉強会を実施している。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	5	0	0	・保護者様、児童自身のニーズを大切に計画を立てている。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	4	1	0	・朝のミーティングで内容や役割分担を決めている。 ・利用人数や、特性に合わせて計画している。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	3	2	0	・下校時刻が遅い児童が増えたので、室内活動が中心にはなっている。 さらに工夫が必要。 ・季節に合った活動を取り入れて、固定化しないようにしている。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	3	2	0	・時間にゆとりがある長期休暇はより細やかに計画を実施できている。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	2	3	0	・活動は基本的に集団のことが多いので、個別活動もうまく取り入れたい。 ・集団活動に入れない子には無理に集団に入れることはせず、子どもの体調や気持ちに寄り添い個別に対応している。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1	0	・毎朝ミーティングで話し合い、決定しているが、役割分担はさらに細やかに話し合いを徹底していく。 ・申し送りノートの活用もしている。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1	0	・支援計画に見合った記録を残せるよう徹底していく。 ・日々の出来事のみ記録しないよう気をつけたい。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	4	1	0	・タイムリーな目標を立てられるように心掛けている。
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3	2	0	・計画的に実行している。 ・エリア勉強会で取り上げ、基本活動への理解度を高められている。

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	1	0	・報告を受けたら即対応することを心がけている。 ・送迎時に申し送られたことも共有している。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	4	1	0	・主に電話や書面で連携を取っている。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	3	2	0	・情報共有に努めている。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	0	・市の部会などで共有している。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	4	1	0	・送迎時等に情報をやり取りし、共有している。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	4	1	0	・契約時に説明している。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	4	1	0	・的確なアドバイスができるよう、更にスキルアップを心がける。 ・わかる範囲では答えられるが、分からないことは持ち帰るようにしている。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	1	2	2	・コロナが落ち着いてきたので、今後開催していく。 ・夏祭りに保護者様の自由参観の時間を設けた。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	0	・トラブル時、双方の保護者様の思いを聞き、解決へ導けるよう心掛ける。 ・不安を少しでもなくしていけるよう寄り添う。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	5	0	0	・夢だより、夢通信・ブログなどでお知らせしている。
	㉗	個人情報保護に十分注意している	4	1	0	・全員で取扱には十分気をつけている。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	1	0	・視覚支援、声掛けの工夫など、一人一人に合ったコミュニケーションを取るように支援している。
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	4	1	0	・ゆうゆう祭りなどの行事で地域交流をしている。
	非常時などの対応	⑳	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	4	1	0
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	5	0	0	・落ち着いて対応できるよう、訓練も真剣に取り組んでいく。
㉒		虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1	0	・研修などで振り返りをし、支援には十分気をつけていく。 ・研修により職員の意識改善が行われているが、日々の活動において実践していきたい。
㉓		いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	4	1	0	・契約時に説明している。
㉔		保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	5	0	0	・与薬表を用い、ダブルチェック体制で服薬してもらっている。
㉕		ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	5	0	0	・朝のミーティングや月末のカンファレンス時に共有し、改善を心がけている。

保護者様評価、自己評価についてまとめ

保護者様評価の中で、活動スペースが狭いのでは？という事に関しては、適切な間隔を取りながら工夫して使用してまいります。保護者会などの行事も、感染症などが落ち着いてきていますので、保護者様同士交流できる行事を計画してまいります。
自己評価では、ご利用児童に楽しみに来ていただけるよう、活動内容・行事なども職員間で創意工夫してまいります。また、安心・安全に一層気を配りつつ、支援に努めてまいります。